

平成30年 5月17日
函館開発建設部

第4回後志利別川流域タイムライン検討会を開催します

せたな町、今金町、北海道、国等からなる「後志利別川水系外大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、後志利別川流域での大規模水害に備えるタイムライン（事前防災行動計画）を策定することを目的とした「第4回後志利別川流域タイムライン検討会」を下記のとおり開催します。

第3回検討会では、タイムライン1次案における防災行動上の役割分担や連携事項の確認を進めたところですが、第3回検討会で出された課題を整理したうえ、引き続き確認作業を行いタイムライン試行版を完成させるため、下記のとおり第4回検討会を開催することといたします。

記

- 1 開催日時 平成30年5月23日（水） 13:30～17:30
- 2 開催場所 瀬棚町民センター
（せたな町瀬棚区本町638番地）
- 3 議事次第
（予定）
 - ・参加機関によるワークショップ
 - 1) 第3回検討会の振り返り
 - 2) グループワーク（タイムライン1次案における役割分担・連携事項の確認）
 - 3) 全体講評
 - ・その他（連絡事項など）
- 4 その他
 - ・災害など不測の事態が発生した場合は、中止することがあります。
 - ・これまでに開催した「後志利別川流域タイムライン検討会」の概要は、以下のURLから御覧いただけます。
<http://www.hkd.mlit.go.jp/hk/koumu/eqp9bq0000008mt.html>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

工務課 流域計画官 ^{みさかわ}三佐川 剛昌（電話番号 0138-42-7604）

今金河川事務所 所長 ^{あきやま}秋山 泰祐（電話番号 0137-82-0041）

函館開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



「後志利別川流域タイムライン検討会」設立概要

1. 設立趣旨

平成 27 年に鬼怒川堤防の決壊や平成 28 年の空知川堤防の決壊など、計画規模を超える大規模な洪水が発生しており、後志利別川においても広域で浸水被害が発生することを想定しておく必要があります。

このため、流域住民の円滑で確実な避難や浸水被害の低減に向けては、上下流で隣接する自治体間や河川管理者などの関係機関の連携・調整が重要となります。

この程、後志利別川の減災対策協議会の枠組みに町内会や防災関係機関も参画して、流域全体での防災力の向上を図るため、先を見越した早期の災害対応を実現する「後志利別川流域タイムライン検討会」を設置することとしました。

2. 参加機関（33機関）～平成 30 年 5 月 17 日時点

函館開発建設部、函館地方气象台、檜山振興局、渡島総合振興局函館建設管理部、せたな町、今金町、北海道警察函館方面本部、せたな警察署、せたな消防署、今金消防署、今金河川事務所災害協定会社、今金河川事務所河川巡視支援会社、せたな町災害協定会社、今金町災害協定会社、北海道電力、狩場利別土地改良区、せたな町消防団、今金町消防団、せたな町町内会（緑町、中央町、長淵、愛知、兜野、丹羽ほか）、今金町町内会（高美町、昭和町、大和町、末広町、緑町、南町、花石連合、八幡町、栄町ほか）

【アドバイザー】

東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 客員教授 松尾 一郎

【事務局】

函館開発建設部、函館地方气象台、せたな町、今金町

3. 効果

- ・水防体制の見直し・改善
- ・関係機関の「顔が見える関係」の構築、連携の円滑化
- ・早め早めの防災行動の確立
- ・防災行動の「漏れ・抜け・落ち」の解消
- ・住民の早期避難
- ・上下流の自治体・防災機関・町内会が一丸となった災害対応の実施

4. その他

検討会は公開で開催し、検討結果は HP 等にて情報発信を行います。

第1回検討会 平成29年9月28日(木) 今金町民センター

第1回検討会では、今後の流域タイムラインの検討に活用するため、平成29年9月に当流域に上陸した台風18号に対し、各防災機関が行った対応の振り返りと課題抽出、及び課題解決のための議論を行いました。また、今後の流域タイムライン検討のための災害シナリオの説明を行いました。



台風18号振り返りワークショップ



ワークショップで張り出された意見



災害シナリオの説明

意思決定ワーキング 平成29年11月10日(金) せたな町民ふれあいプラザ

意思決定ワーキングでは4つのグループに分かれて、「意思決定グループ」では、災害時に町が行う意思決定事項の内容とタイミング、及び支援機関からの情報提供の内容等について、「役場内初動防災対応グループ」では、各部署での防災行動の具体的な内容や実施タイミング、及び行動が完了するまでの所要時間等について検討を行いました。



4テーブルでのグループワーク



せたな町意思決定グループ



今金町グループでの意見交換

前回までの検討会の経過

第2回検討会 平成29年12月4日(月) 今金町民センター

第2回検討会では、意思決定ワーキングで検討した両町の防災行動を基に、各関係機関が防災行動を実施するタイミングを抽出しました。その後、各グループ内で意見交換を行い、各関係機関が防災行動を実施する時期の確認や、防災行動での課題について話し合いました。



関係機関グループ



せたな町グループ



今金町グループ

第3回検討会 平成30年1月18日(木) 瀬棚町民センター

第3回検討会では、事務局から防災行動の段階を示した7つに区分したタイムラインステージ案が提示されました。その後、5つの班に別れて、行動の決定・実施・支援と情報の発信や受信等の項目に対し、「いつ」「誰が」「何をすべきなのか」を検討・確認しました。



せたな町役場班



今金町役場班



災害協定会社班



関係機関班

流域タイムライン 検討経緯と今後の進め方

平成29年9月13日

○流域タイムラインへ検討会発足式

- ・ 挨拶～函館開建部長
せたな町長、今金町長、
函館地方气象台長
(検討会の各長による決意表明)
- ・ アドバイザーによる講演

平成29年9月28日

○第1回タイムライン検討会（ワークショップ形式）

- ・ 台風18号防災対応の振り返り（対応行動と問題・課題の抽出）
- ・ L2浸水想定ハザードと浸水シナリオ（气象台・開建）

平成29年11月10日

○意思決定ワーキング（事務局4者による作業WG）

- ・ 意思決定の内容、タイミング、決定方法の検討
- ・ 関係部署の防災行動の抽出と対応人員・必要時間の見積もり

平成29年12月4日

○第2回タイムライン検討会（ワークショップ形式）

- ・ 防災行動項目と実施タイミングの検討
- ・ 防災対応上の問題点・課題の対策検討

平成30年1月18日

○第3回タイムライン検討会（ワークショップ形式）

- ・ 防災行動項目と実施タイミングの検討
- ・ 防災対応上の問題点・課題の対策検討⇒タイムライン1次案

平成30年3月1日（第4回検討会は暴風雪により延期）

平成30年3月8日

○事務局4者他による作業WG

- ・ TL1次案の内容確認、自治体連携や今後の進め方の検討

平成30年5月23日

第4回タイムライン検討会（読み合わせ形式）

平成30年6月下旬（出水期前）

○流域タイムライン試行版完成式

- ・ 完成報告と事務局4者による運用協定式
- ・ アドバイザーによる講演
- ・ パネルディスカッション 等

試行版の運用

試行版の見直し・修正